

# 11月

## 目配り 気配り 心配り

【ほんと！これはうれしいです！】

昨夜、修学旅行でご宿泊いただいた石川県立金沢辰巳丘高校の皆さん。

今朝は元気に全員出発していったのですが、、

帰ったあとに、お部屋の清掃係から報告が。

「支配人、生徒さんのお部屋にこんなお手紙がありましたよ！」

うわ～！これはうれしいじゃないですか！！

ねー！

こんなステキな心遣いをしてくれるステキな生徒さんたちでした。

昨夜は皆さんに震災のこと、気仙沼のこと、帰ったらやってもらいたいことをお話しさせてもらいましたが、響いてくれたのかなと思うと私自身もとってもうれしいです。

元気をもらいました！

さ、明日からまたガンバロっと！



### 従業員の皆さんへ

今度は、泊めて頂きありがとうございました。

被災地が一日でも早く復興することを、

石川の地からではありますが応援しています。

頑張ってください。

上に載せたのが、集会で話した気仙沼プラザホテルのフェイスブック記事とそ  
の手紙です。何か心が温か  
くなります。

人々が幸せに過ごし、住  
みよい社会にしていくため  
には、3つの「配り」が大切だと思います。

1つは「目配り」です。例えば、「知っている人に気づいて挨拶する。床に落ちているゴミを拾って捨てる。」など、周囲を意識することです。

2つ目は「気配り」です。「人とすれ違うときに、ちょっとよける。困っている人がいたら声をかけてあげる。」など、相手を気遣うことです。

3つ目が「心配り」です。これは、「顔で笑って心は泣く」みたいなこともあるので、相手の心としっかり向き合うことが大事になります。

手紙を書いた高校生も、気仙沼の人達は表向きは明るく接してくれているけど、心の中には色々な思いがあることを知り、それをきちんと受け止めて手紙を書いたからこそ相手の胸に届いたのだと思います。少し難しいですが、中学生であればできると思います。

錦中の皆さんにも、「目配り」「気配り」「心配り」を意識し、世の中を幸せにする人であって欲しいと思います。